

平成26年度事業報告について

I 概 況

平成26年度の水稲の作柄は、水稲では移植後から8月中旬まで日照時間が多く好天に恵まれたため、生育は順調に推移し、登熟期間が日照不足と長雨で登熟が緩慢となり、倒伏が多かったものの作況指数は105の「やや良」で、1等米比率も93%（うるち米）と全国的には高水準の結果となった。

こうしたなか、需要に応じた種子・種苗の安定生産供給と不測の事態に対するリスク管理を充実させながら、役職員が一丸となって鋭意事業の推進に努め、その概況は次のとおりである。

- 1 水稲種子については、登熟期間の気象変動が影響して一部倒伏等が心配されたが、各採種圃とも収穫時の適切な刈り分けを実施し乾燥調製を吟味したことにより、全量合格規格で種子確保をすることが出来た。麦種子は、適正な管理の徹底や収穫時の天候に恵まれたこともあり25年産より種子品位を高めることが出来た。豆類種子についても、指導機関との連携を図り種子の品質を安定させることが出来た。
- 2 りんご苗木については、「果樹経営支援対策事業」取り組む産地に事業推進を図ったものの、消費税増税の駆け込み需要増による反動が大きく、計画を大きく下回る供給となった。
- 3 花き種苗のりんどうの採種は、コストの低減を図るため採種ほ場の集約化を進め、新品種候補の親株を定植した。計画を上回る採種量となったが、需要が減少したため計画を下回る供給量となった。
いちご苗は、供給前に病害検定を実施し、確実な苗のみ供給したため計画を下回る実績となった。
- 4 産米等の品質改善対策事業については、稲作技術指導資料の発行及び諸研修会の開催等により、「いわて純情米」の評価向上に向けて取り組んだ結果、3月末現在のうるち1等米比率は93.0%となり、全国トップクラスの品質を確保することができた。
また、(財)日本穀物検定協会における食味ランキングでは、「県南ひとめぼれ」が20回目の「特A」評価を受けた。
- 5 農産物検査機関として登録11年目となり、農産物検査員5名で「水稲・大豆・小麦」種子を適正に検査した。
また、検査に先立ち、産地別品種別に調製作業の指導をきめ細やかに行った。

II. 事業概要

A 農産種子事業（公益目的事業）

1 農産種子対策

(1) 種子場団地の育成

種子センター更新が懸案事項であった花巻地域の種子場で、地域農業生産に対する担い手としての役割も含め、採種ほの安定維持のために農事組合法人が組織され、法人が事業実施主体となって種子センターが更新整備されたことから、種子生産助成要領に基づいて主要農作物種子対策事業費助成を行い、今後の採種事業活動の活性化に向けて連携を図った。

この他、優良種子の安定確保に向けて各種研修会、巡回指導及び調査等を実施するとともに、岩手県種子生産部会協議会と共催で、採種ほ場を会場とした水稻と小麦の現地研修会や 30 回目となる種子生産者全体研修会を開催し、種子生産者相互の技術や意欲の向上に努めた。

(2) 採種ほ場の設置

採種ほ設置会議を開催し、県内外の種子需要状況や品種別作付動向等を踏まえた協議のうえ、前年より水稻は 500a 増、小麦 300a 増、大豆が 100 a 減で採種ほ場を設置した。

また、需要が伸びている飼料用米専用品種については、400a 増の 960a を設置した。

〈種子場団地採種ほ設置状況〉

作物名	生産計画 数量(kg)	採種ほ設置 面積(a)	団地別内訳
水稻	2,144,120	49,880	岩手町 4,410 紫波町 10,110 花巻市 8,320 北上市 7,880 奥州市(水沢区) 9,580 奥州市(江刺区) 9,580
小麦	246,900	11,600	軽米町 2,900 花巻市 8,700
大麦	1,500	—	(県外委託)
大豆	89,880	4,520	軽米町 1,620 北上市 2,900
小豆	525	35	軽米町 35
ヒエ、はとむぎ等	7,517	913	軽米町 3 花巻市 910

(3) 生産供給状況

① 水稻種子

今年度は、8月中旬以降の長雨や日照不足により登熟のバラツキが心配されたが、各採種ほとも収穫時期の調整を図りながら適切な刈り分け処理を行うことによって、安定した種子品位や量を確保することが出来た。その結果、主力品種については需要に十分対応することが出来たが、急激な米価変動に伴う突発的な需要が発生した一部の品種については、供給調整をせざるを得なかった。

飼料用米専用品種については、生産目標数量の関係や政策による作付誘導の浸透により、5月上旬現在で前年比165%の供給実績となっている。

イネばか苗病対策については、本年度はテクリードCフロアブルによる消毒済種子を供給し4年目となったが、引き続き採種ほ周辺の育苗巡回や本田の巡回・抜き取りを実施し、イネばか苗病の発生防止に務めた。

細菌病対策としては、温度管理を中心とした耕種的防除の徹底とともに、昨年と同様にプール育苗への移行やツインターボ等ルーチン剤の播種同時施用などが実施され、採種ほ用育苗での細菌病発生を回避することが出来た。

【供給実績（平成27年播種用）】

平成27年5月13日現在（単位：kg）

種 類	生産計画 数 量	生産確保数量			供給数量 (B)	差 引 (A)-(B)	前年比 (%)
		県 内	県 外	計(A)			
うるち	1,845,660	1,842,580	8,780	1,851,360	1,707,740	143,840	93
も ち	189,260	169,260	20,000	189,260	180,120	9,140	122
飼料用米	109,200	88,840	0	88,840	85,940	2,900	165
計	2,144,120	2,100,680	28,780	2,129,460	1,973,800	155,880	97

② 麦類種子

採種ほの生育は、雪腐れ病により被害を受けたほ場（軽米）や縞萎縮病対策のため晩播したほ場で生育量が不足する（花巻）などして、ナンブコムギで生産計画を下回る状況となったが、備蓄種子を含めて種子需要に対応した。他の品種は生産計画を上回り、合格種子の割合が向上した。

製パン適性が高い「銀河のちから」については需要が伸びており、一部転用種子を確保し供給した。

【供給実績】

（単位：kg、%）

種 類	生産計画数量	生産確保数量(A)	供給数量(B)	差引(A)-(B)	前年比(%)
大 麦	1,500	4,700	4,700	0	134
小 麦	246,900	282,600	236,520	46,080	101
計	248,400	287,300	241,220	46,080	101

※生産確保数量に、県外産種子4,700kg、備蓄種子33,210kg、一般産転用種子5,700kgを含む。

③ 大小豆等種子

8月中旬以降の強雨などにより一部で蔓化・倒伏したほ場があるが、適期の収穫と種子調製の吟味により、主力品種の「ナンブシロメ」「リュウホウ」及び新品種「シュウリュウ」を全量合格種子で確保できた。ただし、新品種の「シュウリュウ」が想定以上の需要があり、転用種子の確保を含めた対応となった。

雑穀の種子については、新品種「ひめこがね」（キビ岩手糯1号）の生産を開始しており、昨年から供給を開始した「ゆいこがね」（アワ岩手糯3号）と合わせて新たな需要の掘り起こしに努めた。

【供給実績】

平成27年5月18日現在（単位：kg、%）

種 類	生産計画数量	生産確保数量(A)	供給数量(B)	差引(A)-(B)	前年比(%)
大 豆	101,600	109,560	93,090	16,470	103
小 豆	525	525	261	264	89
ヒエ、そば等	7,917	8,344	7,353	981	91

※大豆及び雑穀の生産計画数量には、備蓄種子対応予定分が含まれている。

※大豆種子確保数量には備蓄種子14,040kg、転用種子(シュウリュウ)5,790kg含む。

※雑穀種子確保数量には備蓄種子352kg、転用種子1,605kgを含む。

2 品質改善対策

(1) 産米品質改善対策

平成26年産水稻の生育は、田植期から出穂期まで天候に恵まれたこともあり、全般的に茎数が平年を上回り良好であったが、8月に入って日照時間が平年を下回ったことから登熟のバラツキが見られ、一部地域で穂いもち病が発生したことなどにより、未熟粒の発生が多い傾向となった。

このような影響があったものの、総体的には収量が平年より多く確保されたことから、県全体の作況指数は「105」の「やや良」となり、平成27年3月末現在のうるち玄米の1等米比率は93.0%と全国トップクラスの高品質を確保している。

なお、関係機関・団体と連携して取り組んだ産米品質改善の概況は次のとおりである。

① 生産者対象

ア. 資料等の作成、配付による産米改善の推進

- | | |
|-------------------|-------------------------|
| 1) 産米品質改善チラシ | 60,000部(前年と同じ) |
| 2) 水稻適期刈取りテレビスポット | 9/8~9/30日(前年9/11~9/30日) |

② 指導者対象

ア. いわて純情米産地体質強化推進協議会による稲作技術対策会議の開催(年2回)

7月10日、2月10日 延べ約300名参加(県との共催)

イ. 消費地に対する「いわて純情米」のPR

「いわて純情米」パンフレット 6,500部(前年と同じ)

(2) 麦類品質改善対策

平成26年産小麦は、収穫期の降雨が平年より少なかったことから、概ね適期に刈取りができことから品質が良く、普通小麦の検査数量は6,102ト(前年が7,174ト)と前年を下回ったものの、1等比率は88.1%(前年60.0%)と前年より大きく上回った。

① 資料等の作成、配付による品質改善の推進

ア. 「麦の品質改善」チラシ 1,800部(前年と同じ)

3 種子需給調整対策

(1) 種子備蓄対策

水稻種子については、県オリジナル品種等を中心に約132トを備蓄し気象災害等に備えたが、26年産種子が十分確保されたことから残量処理を行った。

また、27年播種用に向けて、麦類種子は44ト、豆類種子は約14トをそれぞれ備蓄している。

4 種子事故防止対策

(1) 水稻採種ほ病害発生防止対策

イネばか苗病対策として、採種ほ周辺の点検巡回や早期の抜き取り作業を各種子場と連携して実施するための経費補填や、細菌病対策として薬剤の播種同時施用機の追加導入に対して、昨年と同様に半額助成を実施し、病害発生防止対策に繋がった。

B 園芸種苗事業（収益事業1）

1 果樹苗木対策

りんごについては、需要の多い県オリジナルりんご品種「紅いわて（岩手7号）」の生産拡大に取り組むとともに、栽培管理では生育状況に合わせたほ場かん水や誘引などの改善を図ったことにより、苗木の商品化率が向上するとともに、JM系台木も必要量を確保することができた。

関係機関や団体と連携し、国庫補助事業の「果樹経営支援対策事業」に取り組む産地を積極的に推進したものの、前年度の消費税増税駆け込み需要の反動が大きく、リンゴ苗木の供給実績は前年及び計画数量を大きく下まわった。

なお、苗木の出荷規格を見直しするとともに、関係機関等と協議し、定植後の栽培管理が難しい2等以下の苗木は、供給しないこととした。

また、ブルーベリー等一般果樹苗木の需要が前年を下回ったため、苗木全般でも、供給計画を下まわった。

〈主要生産・取扱品目〉

りんご苗木	きおう、つがる、紅いわて（岩手7号）、大夢、ジョナゴールド、ふじ、シナノゴールド、はるか 他
一般果樹苗木	ぶどう、もも、なし、くり、うめ、ブルーベリー 他
景観形成緑化花木	ドーダンツツジ、さつき、ツツジ、各種桜、花水木 他

【供給実績】

（単位：本）

種類 / 品種	供給計画	供給数量	計画比 (%)	前年比 (%)
き お う	1,500	1,448	97	51
さ ん さ	500	267	53	66
つ が る	1,500	1,893	126	103
紅いわて（岩手7号）	5,600	4,943	88	94
ジョナゴールド	2,000	991	50	39
大 夢	690	681	99	71
ふ じ	13,000	10,559	81	69
シナノゴールド	2,000	2,219	111	75
は る か	1,200	1,567	131	75
そ の 他	8,010	4,002	50	57
りんご苗木 小計	36,000	28,570	79	69
うちわい性台苗木	35,300	27,766	79	69
うち丸葉台 苗木	700	804	115	92
りんご台木	5,000	4,311	86	69
一般果樹苗木	8,700	4,090	47	64
景観形成緑化花木苗木	300	388	129	194
苗木 合計	50,000	37,359	75	69

2 花き種苗対策

(1) りんどう

種子系りんどうは、関係機関の指導に基づき、露地栽培での親株管理体制を強化し、夏場には受粉率を高めるため早朝から作業をしたことや、開花期の異常高温も無く天候にも恵まれたことから、計画を上回る数量を確保できた。

また、採種作業の効率化を目指し、ほ場を金ヶ崎町へ集約するとともに、新品種候補の採種母株と花粉親株を定植し、奨励品種に採用された際には、いち早く種子を供給出来る体制を整えた。

本年は、新品種「いわてLB-3号」を除き産地からのすべての需要に対応することができたが、需要が減少したため計画を下回る供給実績となった。

栄養系りんどうは、計画並みの苗を供給することができた。

【供給実績】

(単位 種子系：m0、栄養系：本)

種類 / 品種	供給計画	供給数量	計画比 (%)	前年比 (%)	
早生種	いわて夢あおい	160	142.5	89	72
	キュースト	60	29.0	48	71
	マシリィ	80	44.5	56	66
	マジエル	200	138.0	69	75
早生種 小計	500	354.0	71	73	
中生種	いわて	20	11.0	55	48
	中生種 小計	20	11.0	55	48
晩生種	ジョバンニ	150	11.0	7	11
	いわてLB-3号	25	34.6	138	—
	いわてLB-4号	25	180.0	720	—
	いわて夢みのり	50	30.5	61	59
晩生種 小計	250	256.1	102	171	
極晩生種	いわて夢みつき	20	22.0	110	129
	アルタ	50	17.0	34	40
極晩生種 小計	70	39.0	56	66	
鉢物	いわて乙女	260	288.4	111	113
	鉢物 小計	260	288.4	111	113
種子系りんどう 合計	1,100	948.5	86	97	
鉢物	ももずきんちゃん	2,800	3,000	107	143
	ももこりん	0	150	—	—
鉢物 小計	2,800	3,150	113	150	
受託品種 小計	44,050	40,120	101	91	
栄養系りんどう 合計	46,850	43,270	102	92	

3 野菜種苗対策

(1) 栄養繁殖系野菜種苗

昨年供給したいちご苗に「イチゴ炭疽病」が発生したため、本年度は、出荷前に簡易検定を行い保菌が確認されたロットを廃棄したこともあり、計画を下回る供給となった。

にんにく及びながいも種子は、需要による取り次ぎで対応し、にんにくは計画及び前年を上回り、ながいもは計画通りとなった。

【供給実績】

(単位 いちご：株、にんにく：kg、ながいも：kg)

品目 / 品種	供給計画	供給数量	計画比 (%)	前年比 (%)
北の輝	3,170	1,910	60.3	64.5
さちのか	6,180	3,362	54.4	45.9
宝交早生	850	0	0	0
なつあかり	170	0	0	0
デコルージュ	300	0	0	0
その他	2,750	4,260	155	102.5
いちご苗 合計	13,420	9,532	71	60.1
にんにく種子	100	340	340	145
ながいも種子	800	800	100	615

(2) 種子繁殖系野菜種苗

カボチャ苗、なばな種子は、前年を下回る供給となった。

【供給実績】

(単位 カボチャ：本、はるの輝：ml)

品目 / 品種	供給計画	供給数量	計画比 (%)	前年比 (%)
カボチャ / 南部一郎	1,000	682	69	82
なばな / はるの輝	2,500	2,530	101	84

4 その他種苗対策

(1) グランドカバープランツ

イブキジャコウソウの供給する苗サイズを従来の200セルから50セルを主体としたことにより、単位面積当たりの定植本数が約1/4に減少することから、供給実績は計画を大きく下回ったが、植栽面積は計画通りである。

また、津波被災地の復興に係る「食料生産地域再生のための先端技術展開事業（先端プロ事業）」を活用し、効率的な育苗方法の確立に取り組むとともに、陸前高田市に実証ほを設置し、次年度以降の販路拡大を目指した。

【供給実績】

(単位 本、面積：㎡)

品目	供給計画	供給実績	計画比 (%)	前年比 (%)
イブキジャコウソウ	42,000	11,275	27 %	26 %
参考) 想定面積	1,680	1,879	102 %	108 %

C 農産物検査事業（収益事業2）

平成26年度は、検査員5名で種子を適正に検査した。

【検査実績】

検査種類		H26年産 検査数量	参考) H25年産 検査数量	前年対比
水稲	種子水稲うるちもみ	1,922,220	1,954,420	98%
	種子水稲もちもみ	169,260	175,560	96%
	水稲うるちもみ	9,200	2,100	438%
	水稲もちもみ	—	—	—%
	小計	2,100,680	2,132,080	99%
小麦	種子小麦	142,650	24,630	579%
	普通小麦	101,040	143,490	70%
	小計	243,690	168,120	145%
大豆	種子大豆	88,350	0	—%
	普通大豆	1,110	54,810	2%
	小計	89,460	54,810	163%
合計		2,433,830	2,355,010	103%

D 管理運営

(1) 健全経営

平成26年4月の消費税改定により、種子種苗需要の反動減が影響して公益部門は赤字となったが、前年度の部門収支の黒字を相殺し収支相償となった。

収益部門の園芸事業においても売上の反動減が影響したが、他会計振替前の部門収支は僅かに黒字を確保することが出来た。

全体としては収支バランスが崩れたものの一過性であり、次年度以降は収支均衡を図ることが出来る見通しである。なお、正会員からの長期預かり金は、引き続き利付き国債の5年物及び10年物で保全管理を行った。

(2) 人材育成

役職員及び作業員を対象に、苗木生産の先進地の視察研修を実施し、関係機関・団体が主催する諸研修会に参加するとともに、職員の意欲と能力の向上を図るとともに、事業環境の変化に柔軟に対応できる人材を育成するために、昨年見直した人事評価制度に取り組んだ。

また、健康管理講座を開催するなど、これまでの福利厚生と健康管理活動が評価され、(一社)岩手県農林漁業団体役職員連盟の優良分会として表彰された。

(3) リスクマネジメントの実施

平成25年度に整備した大規模災害や種苗事故に関するリスク管理の対策マニュアルに基づき、種子種苗生産現場では異品種混入や病虫害防除など従来以上に注意を払うとともに、台風時には施設等を事前に巡回補修し、種苗生産ほ場の排水路をチェックするなど気象災害の防止対策を実施し、作業時のけが等に対応できるよう携帯用の救急箱を配備した。

また、役職員と作業員全員を対象に運転シュミレーターを用いた交通安全講習を開催し、各人に運転上のアドバイスが記載された「運転適性診断結果票」を交付し、交通安全を啓蒙した。

(4) 主要実施及び参加行事

開催月日	行事名	地区名	
平成 26 年	4 月 1 日	「純米大吟醸結いの香」新酒お披露目会	盛岡市
	4 月 3 日	赤石もち種子部会、法人総会	紫波町
	4 月 4 日	大豆種子農産物検査 (4/15、22)	軽米町、北上市
	4 月 9 日	T P P 等を考える県民会議及び学習会	盛岡市
	4 月 15 日	イチゴ苗病害調査、打合せ (～9/30、随時)	各供給先
	4 月 16 日	豆雑穀採種ほ場設置会議	北上市
		「北限のゆず」研究会、栽培講習会他 (～3/26、随時)	陸前高田市
	4 月 17 日	(一社) 岩手県農林漁業団体役員連盟分会長会議 (1/15、3/9)	盛岡市、奥州市
	4 月 21 日	県防除所水稻育苗巡回同行 (～4/23、5/1～2)	県内各地区
	4 月 24 日	農産物検査担当者会議	矢巾町
		先端プロ：生育調査、定植作業等 (～2/24、随時)	陸前高田市
	4 月 25 日	岩手県種子生産部会協議会三役会議 (11/5)	江刺区
	4 月 28 日	水稻採種ほ育苗巡回 (～5/14、随時)	県内採種ほ
		花巻種子センター地鎮祭	花巻市
	5 月 2 日	「純情米需要拡大推進協議会」監査	盛岡市
	5 月 9 日	経理に関する監査 (5/16、19)	盛岡市、奥州市
	5 月 12 日	T P P 断固反対岩手県総決起集会 (3/28)	盛岡市
	5 月 15 日	果樹担当者会議	花巻市
	5 月 16 日	「純情米需要拡大推進協議会」幹事会	盛岡市
	5 月 20 日	内部監査	江刺区
	5 月 21 日	いちご苗生産の先進地視察	宮城県
	5 月 23 日	監事による監査	平泉町、花巻市、盛岡市
	5 月 27 日	(一社) 岩手県産業会館定時総会	盛岡市
	5 月 28 日	農産物検査員育成研修	矢巾町
	5 月 29 日	公益法人研修会	宮城県
	6 月 2 日	平成 2 6 年度第 1 回理事会	盛岡市
		小麦採種ほ場第 1 期審査 (6/5～6)	花巻市、軽米町
	6 月 3 日	りんどう採種技術検討会 (9/2、12/16、2/16)	金ヶ崎町、奥州市
		りんご「岩手冬恋研究会」栽培講習会等 (9/9、12、11/12)	一関市
	6 月 4 日	「純情米需要拡大推進協議会」総会	盛岡市
		花巻農協小麦採種生産組合現場研修 (～6/6)	佐賀県
	6 月 5 日	いわて農林水産振興協議会総会	盛岡市
		ぶどう栽培流通研修会	花巻市
	6 月 10 日	岩手県種子生産部会協議会役員会	花巻市
(一社) 全国米麦改良協会総会 (書面表決)		東京都	
6 月 12 日	りんご病虫害防除研修会 (7/14)	北上市	
6 月 13 日	登録検査機関指導的検査員程度統一会	矢巾町	
6 月 16 日	水沢採種部会役員研修 (～6/17)	宮城県	

開催月日		行 事 名	地区名
平成 26 年	6 月 17 日	県産麦現地検討会	北上市
	6 月 18 日	小麦採種ほ場第 2 期審査 (7/3~4)	花巻市、軽米町
		小麦「東北 228 号」現地検討会	紫波町
	6 月 19 日	岩手県種子生産部会協議会通常総会 (~6/20)	花巻市
		岩手県園芸育種研究会総会	北上市
	6 月 20 日	麦種子生産者現地研修会	北上市
	6 月 24 日	りんご産地早期再生技術セミナー	陸前高田市
		水稻種子生産者現地研修会	花巻市
		公益法人会計に係る意見交換会	東京都
		能力開発セミナー「ホカミの効果的防止策」(~6/25)	久慈市
	6 月 27 日	りんどう研究会	盛岡市
	6 月 28 日	水稻採種ほ場、周辺ほ場バカ苗病調査 (~8/29、随時)	県内採種ほ場
	6 月 30 日	第 3 5 回通常総会	盛岡市
		(公社) 岩手県農畜産物価格安定基金協会通常総会	盛岡市
		種子小麦調製指導 (~7/22、随時)	花巻市、軽米町
	7 月 1 日	水稻種子伝染性病害防除対策検討会	盛岡市
	7 月 2 日	役職員、作業員の苗木生産視察研修会	山形県
	7 月 3 日	JA 江刺採種部会研修 (~7/4)	福島県
	7 月 7 日	主要農作物種子審査員研修会	北上市
		水稻種子県外推進、先端プロ事業視察他 (~7/11)	広島県他
	7 月 8 日	栄養系りんどう品種特性調査 (9/5)	花巻市、野田村
	7 月 9 日	農業気象協議会総会、幹事会	盛岡市
	7 月 10 日	東北六県種子協会協議会 (~7/11)	宮城県
		第 1 回稲作技術対策会議	北上市
	7 月 11 日	普通小麦検査程度統一会	矢巾町
	7 月 15 日	先端プロ：事業現地検討会 (~7/16)	陸前高田市、北上市
		役職員、作業員の交通安全講習会	江刺区
	7 月 17 日	(一社) 岩手県農林漁業団体役職員連盟通常総会	盛岡市
	7 月 24 日	全国りんご研究大会 (~7/25)	青森県
		宮城県種子協議会研修対応	紫波町
		経理に関する監査 (7/28、30)	盛岡市、奥州市
	7 月 25 日	水稻採種ほ場第 1 期審査 (~8/12、随時)	岩手町他
	7 月 28 日	岩手県産麦民間流通協議会	盛岡市
	7 月 29 日	安全運転管理者講習	北上市
		農産物検査員技能確認会 (7/31)	矢巾町、江刺区
	8 月 1 日	岩手県農業会議臨時総会 (委任状出席) (10/31、2/26)	盛岡市
	8 月 5 日	大豆採種ほ場審査 (8/7)	北上市、軽米町
	8 月 8 日	水稻原種ほ場第 1 期審査	北上市
		小麦農産物検査 (8/20, 22, 29, 9/2)	軽米町、花巻市

開催月日	行事名	地区名	
平成 26 年	8 月 12 日	県農業研究センター生産物の検査等級調査	北上市
	8 月 19 日	水稻採種ほ場第 2 期審査(～8/9、随時)	岩手町他
	8 月 25 日	県育成りんご品種生産・販売検討会議	北上市
	8 月 26 日	種子価格設定委員会(麦類の部)	盛岡市
		麦類採種ほ場設置会議	盛岡市
	8 月 27 日	岩手県種子生産部会協議会役員会研修会(～8/29)	兵庫県
		岩手県農業者総決起集会	盛岡市
	8 月 28 日	「直播水稻と果樹枝幹害虫防除」シボジウム(～8/29)	北上市
	9 月 2 日	水稻原種ほ場第 2 期審査(9/9)	紫波町、北上市
	9 月 4 日	農産物検査程度統一会	矢巾町
		能力開発セミナー「トク生産方式改善手法」(～9/5)	矢巾町
	9 月 5 日	県農業研究センター等参観デー出店(～9/6)	北上市
	9 月 10 日	水稻種子場巡回指導(9/16～17)	紫波町～北上市
	9 月 11 日	県産大豆現地検討会	北上市
	9 月 16 日	岩手県農業会議創立 60 周年記念式典、祝賀会	盛岡市
		りんご「紅いわて」収穫指導会	北上市
		ハト麦採種ほ場巡回	花巻市
		試験研究推進会議(農産)	北上市
	9 月 24 日	普及員中間実績検討会(りんご)	北上市
	9 月 25 日	JA やえやま水稻部会視察対応(～9/26)	北上市、紫波町
	9 月 29 日	青森県種子協会視察対応	岩手町、紫波町
	10 月 1 日	水稻種子農産物検査、種子調製指導(～12/26、随時)	紫波町他
	10 月 2 日	りんどう採種視察・イブキヤコウ実証ほ視察	八幡平市
	10 月 3 日	米検査程度統一会	矢巾町
	10 月 6 日	トラクター運転技能研修(～10/9)	金ヶ崎町
	10 月 7 日	役員推薦会議	盛岡市
	10 月 14 日	水稻種子現物品検討会	北上市
	10 月 16 日	大豆採種ほ場第 2 期審査(10/17)	軽米町、北上市
	10 月 17 日	給与・会計ソフト研修会	仙台市
	10 月 29 日	新たないわて純情米生産・販売推進会議	盛岡市
	11 月 4 日	平成 26 第 2 回理事会	盛岡市
	11 月 6 日	東北 6 県種子協会連絡協議会(～11/7)	宮城県
		鉢花りんどう実績検討会(12/11)	花巻市
11 月 7 日	岩手県農業委員大会	盛岡市	
11 月 12 日	胡四王みらい種子センター竣工式(2/5 祝賀会)	花巻市	
11 月 17 日	秋田県種子協会等視察研修対応(小麦)(2/19)	花巻市	
11 月 18 日	大豆検査程度統一会	矢巾町	
	いわてのお米推進会議第 2 回幹事会	盛岡市	
11 月 19 日	グラントカープラツ先進地視察研修(～11/21)	北海道	

開催月日		行 事 名	地区名
平成 26 年	11 月 20 日	岩手県種子生産部会協議会理事会（～11/21）	盛岡市
		いわて花き生産者の集い	八幡平市
	11 月 21 日	水稲種子価格設定委員会	盛岡市
		水稲種子事故防止委員会	盛岡市
	11 月 25 日	いわてのお米販売戦略第 2 回推進会議	盛岡市
	11 月 27 日	兵庫県種子部会視察研修対応	花巻市
		県園芸育種研究会「育種セミナー」	北上市
		果樹品種検討会（晩生種）	北上市
	12 月 2 日	普及員専門技術基本研修（果樹）	江刺区
	12 月 3 日	病害虫防除実績検討会（水稲・畑作）（12/4 野菜・花き）	北上市
		群馬県米麦大豆振興協会視察研修対応	花巻市
	12 月 4 日	神奈川県種子協会視察研修対応	江刺区
	12 月 10 日	種子栽培管理研修会（豆・麦）	軽米町
	12 月 11 日	公益法人への立入検査	奥州市
		いわて農林水産躍進大会	盛岡市
	12 月 12 日	岩手県果樹協会との交流会	北上市
	12 月 16 日	果樹普及活動研究会	北上市
	12 月 17 日	県農研センター産大豆原種確認	北上市
12 月 18 日	先端プロ：事業研究成果発表会、施設見学	陸前高田市	
12 月 22 日	かぼちゃ「南部一郎」生産販売検討会	矢巾町	
平成 27 年	1 月 7 日	農研センター試験研究推進会議（1/8、13）	北上市
	1 月 9 日	大豆シュウリュウ・銀河のちから普及会議	北上市
	1 月 15 日	米麦改良対策全国会議（～1/16）	東京都
	1 月 19 日	運営課題等検討委員会（2/20）	盛岡市
	1 月 21 日	冬期果樹種苗研修会（～1/22）	東京都
	1 月 22 日	新技術・普及活動検討会（作物、野菜、果樹）	北上市
	1 月 26 日	米のブランド化に係る講演会	盛岡市
		経理に係る監査（2/3、5）	盛岡市、奥州市
	2 月 2 日	農作物奨励品種検討会議	盛岡市
	2 月 3 日	いわてのお米推進会議第 3 回幹事会	盛岡市
	2 月 5 日	寒冷地果樹研究会（～2/6）	盛岡市
	2 月 9 日	先端プロ：事業推進会議	盛岡市
	2 月 10 日	第 2 回稲作技術対策会議	北上市
	2 月 12 日	水稲原種生産物審査会	北上市
	2 月 13 日	いわてのお米販売戦略第 3 回推進会議	盛岡市
	2 月 18 日	水稲採種ほ場設置会議	北上市
	2 月 19 日	秋田県 JA 秋田しんせい採種部会研修対応	北上市
		小麦「銀河のちから」「東北 228 号」試食検討会	盛岡市

開催月日	行 事 名	地区名
2月23日	マイナンバー制度、メンタルヘルス対策セミナー	盛岡市
2月25日	岩手県種子生産者全体研修会（～26）	宮城県
2月26日	果樹苗木生産計画会議	北上市
3月5日	東北六県種子協会協議会担当者会議（～3/6）	宮城県
3月16日	大豆種子農産物検査（3/27, 30）	軽米町、北上市
3月20日	豆類種子価格設定委員会	盛岡市
3月24日	岩手県農業会議定期総会	盛岡市
3月25日	平成26第4回理事会	盛岡市
	JA岩手県五連田沼会長全中受賞祝賀会	盛岡市
3月26日	りんご冬恋・はるか推進大会	盛岡市

(5) 主な処理事項

1) 総会

○ 第35回通常総会

期日：平成26年 6月30日

場所：岩手県産業会館 7階 ホール

総会日現在会員数		51
出席会員数	本人出席数	22
	書面表決	14
	委任状出席数	15
	計	51

(議決事項)

第1号議案 平成25年度事業報告と収支決算の承認について

第2号議案 分担金の額及びその納入方法について

第3号議案 役員報酬の決定について

(報告事項)

平成26年度事業計画並びに収支予算について

○ 平成26年度臨時総会（決議及び報告の省略）

期日：平成26年12月 1日

総会日現在会員数		51
出席会員数	同意書	51
	計	51

(議決事項)

第1号議案 補欠選任に係る監事の選任について

(報告事項)

平成25年産種子の最終供給報告について

2) 理事会

○ 第1回理事会

期日：平成26年 6月 2日

場所：岩手県産業会館 5階 J A岩手県五連特別会議室

(議決事項)

第1号議案 平成25年度事業報告及び収支決算の承認について

第2号議案 分担金の額及びその納入方法について

第3号議案 役員報酬の決定について

第4号議案 第35回通常総会の開催時期・議案等の決定について

第5号議案 平成26年度事業計画の修正及び収支予算の補正について

○ 第2回理事会

期日：平成26年11月 4日

場所：岩手県産業会館 5階 J A岩手県五連特別会議室

(報告事項) 平成26年度上期事業概況について

- (協議事項) (1) 平成26年度下期事業推進事項について
(2) 職員給与体系の見直しについて
(3) 公益目的資産取得に係る資金造成について

(議決事項)

- 第1号議案 補欠選任に係る監事候補者の承認について
第2号議案 平成25年産種子の最終供給報告について
第3号議案 業務方法書の一部改正について

○ 第3回理事会 (決議の省略)

期日：平成27年 3月 3日

(議決事項)

- 第1号議案 平成27年度役員賠償責任保険への加入について

○ 第4回理事会

期日：平成27年 3月25日

場所：岩手県産業会館 5階 JA岩手県五連特別会議室

(報告事項)

- (1) 平成26年度事業概要及び収支決算見通しについて
(2) 運営課題等検討委員会の検討結果について

(議決事項)

- 第1号議案 事業運営3カ年計画(H27~H29)の策定について
第2号議案 平成27年度事業計画及び収支予算(案)について
第3号議案 特定費用準備資金等取扱規程(案)の制定について
第4号議案 建物資産取得に係る資金造成(案)について
第5号議案 諸規程の一部改正(案)について

3) 監査会

○ 監事による監査

期日：平成26年 5月23日

場所：平泉町「平泉町役場」・花巻市「JAいわて花巻」・盛岡市「柏葉税理士事務所」

(監査事項)

平成25年4月1日から平成26年3月31日期の事業報告並びに当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書、財産目録について

○ 経理に関する監査

監査実施者 監事 柏葉祐一

- (1) 平成26年1月1日から平成26年3月31日までの経理

期日及び場所

平成26年5月9日	盛岡市	柏葉税理士事務所
平成26年5月16日	奥州市	種苗センター研修室
平成26年5月19日	盛岡市	柏葉税理士事務所

(2) 平成26年4月1日から平成26年6月30日までの経理
期日及び場所

平成26年7月24日	盛岡市	柏葉税理士事務所
平成26年7月28日	奥州市	種苗センター研修室
平成26年7月30日	盛岡市	柏葉税理士事務所

(3) 平成26年7月1日から平成26年9月30日までの経理
期日及び場所

平成26年10月22日	盛岡市	柏葉税理士事務所
平成26年10月27日	奥州市	種苗センター研修室
平成26年10月29日	盛岡市	柏葉税理士事務所

(4) 平成26年10月1日から平成26年12月31日までの経理
期日及び場所

平成27年1月26日	盛岡市	柏葉税理士事務所
平成27年2月3日	奥州市	種苗センター研修室
平成27年2月5日	盛岡市	柏葉税理士事務所

○業務規程による内部監査

監査実施者 専務理事 伊五澤正光
常務理事 小澤 健宏

期日：平成26年5月20日

場所：奥州市 種苗センター役員室

(監査事項)

平成25年4月1日から平成26年3月31日期の事業報告並びに収支決算について

(6) 役員の状況

区分	前年度末現在	本年度就任	本年度退任	本年度末現在
理事長	1	0	0	1
副理事長	2	0	0	2
専務理事	1	0	0	1
常務理事	1	0	0	1
理事	6	0	0	6
監事	3	1	1	3
計	14	1	1	14

(7) 職員の状況

区分	前年度末現在	本年度採用	本年度退職	本年度末現在
事務局長	1	0	0	1
職員	8	0	0	8
計	9	0	0	9

Ⅲ 事業報告の附属明細書

定款第42条第2号に規定する事業報告の附属明細書については、以下の通りである。

1 代表理事及び業務執行理事に係る他の公益法人との兼任状況

平成27年3月31日現在

区分	氏名	兼職先法人	兼職の内容
理事長	田沼 征彦	公益社団法人岩手県農畜産物価格安定基金協会	会長理事

2 役員に対する報酬支払状況

区分	総会で承認された役員報酬限度額	平成26年度に支払われた役員報酬額
理事	11,000,000 円	8,915,600 円
監事	1,000,000 円	308,000 円
合計	12,000,000 円	9,223,600 円

3 事業実施状況に係る補足事項

(1) 公益目的事業

- 1) 平成26年度水稲、麦、大小豆、そば・雑穀種子買上配付実績数量
- 2) 平成26年度水稲、麦、大小豆、そば・雑穀種子場別買上配付実績数量
- 3) 平成26年度(27年播種用)水稲種子の配付先別数量
- 4) 平成26年度麦、大小豆種子の配付先別数量
- 5) 平成26年度そば・雑穀種子の配付先別数量
- 6) 種子更新率の推移(水稲、大麦、小麦、大豆)
- 7) 平成27年度水稲、麦、大小豆、そば・雑穀種子生産計画
- 8) 平成27年度水稲、麦、大小豆種子場別生産計画
- 9) 平成27年度(28年播種用)水稲種子の申込先別数量
- 10) 平成27年度麦、大小豆種子の申込先別数量
- 11) 平成27年度(28年播種用)雑穀種子の需要見込み数量と種子生産計画

(2) 収益事業

- 1) 平成26年度果樹苗木供給数量
- 2) 平成26年度花き・野菜種苗供給数量

(詳細は別冊の「種子種苗取扱補足資料」のとおり)